

第4回愛南町海業推進会議を開催しました！

1月31日(水)、役場本庁3階で第4回海業推進会議が開催され、20人の委員が出席しました。

会議の第1部では、第3回会議以降の取り組みとして、大野甲子彦委員から2回実施された運営委員会の報告発表が行われました。行政の役割や海業の推進体制など、議論の内容がパワーポイントで紹介され、各プロジェクトがワクワクすると同時に、所得を増やしていくものとなることの重要性が説明されました。

続く第2部では、年度末までの策定を目指して意見を出し合っている「愛南町海業グランドデザイン(仮称)」について、グループ討議と全体討議が行われました。事務局が作成した骨子(案)とイメージでは、推進会議委員一同から町全体への想いをメッセージとして伝えるものとしていくことが提案されました。

グランドデザインは、3月に開催予定の第5回愛南町海業推進会議で最終案が提示される予定です。



第14回愛南町水産フォーラム 未来に向け水産業を守るために～海から森を考える～



愛媛
CATV
動画

町では水産業の振興を図るため毎年1回、各種テーマを掲げ水産フォーラムを開催しています。1月20日(土)に開催した「第14回愛南町水産フォーラム」では、3人の講師をお招きし、「未来に向け水産業を守るために海から森を考える」をテーマに講演会を行いました。個性豊かな活動を続けている講師の皆さまからは、「良い森がある場所に良い海がある」という視点で、海に関わる人間と山林に関わる人間が協力し合いより良い環境を作ることが重要であるという講話がありました。

73人の参加者は、講師の幅広い活動と経験談に真剣に聞き入りつつ、町の将来につながる産業の在り方について理解を深めました。

【講師の皆さま】



▲最後には講師と質疑応答の時間も設けられ、活発な意見が交わされました。



漁師の立場から、森を考える

NPO法人 森は海の恋人
島山重篤理事長



愛媛の海と森をモリアゲる!

株式会社モリアゲ
長野麻子代表



マーケティングと人生のデザイン

デザインコンサルタント
岸本吉生氏

※「海業」は、「海や漁村の魅力と地域資源を活用して水産物の消費拡大と所得向上を図る事業」を総称した言葉です。水産課海業推進室では、ぎょしょく教育や水産物販売促進、魚類・貝類養殖支援、漁場保全など、これまでの水産振興の取り組みに加えて、漁家民宿や体験観光、マリンレジャーなど、漁業・水産業にとどまらない海に関連した取り組みを行っています。



愛南町
ホーム
ページ